

(様式1)

校 種	小・中 どちらかに○	学校番号	5 4	学校名	宇都宮市立瑞穂台小学校
-----	---------------	------	-----	-----	-------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の教育を基盤として、よい校風の樹立と21世紀を担う人づくりを目指し、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい人間の育成を図る。

(2) 具体目標（具体的な児童像）

- よく考え、自ら学ぶ子
- 心豊かで、思いやりのある子
- 自ら行動し、たくましい子

2 学校経営の理念

本校教育の基本理念を示す合い言葉「よく学び 心のふるさと みずほだい」を家庭・地域と共有し、「学び」と「心のふるさと」を全教育活動の柱として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指す。

- 【目指す学校像】
- 学び（個の成長）のある学校
 - 居場所（認められる場所）のある学校

- 【目指す教師像】
- 児童を尊重する教師
 - 授業改善に取り組む教師
 - 危機管理意識を備えた教師
 - 異なる立場を理解する教師

3 学校経営の方針

〔瑞穂野地域学校園教育ビジョン〕

9年間の連続した学びの中で、
生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）を育てる小中一貫教育
～小中連携による小学校高学年における教科担任制の推進～

- (1) 児童一人一人が自分の良さを発揮し、学校生活への充実感や自己有用感を感じることのできる学校づくり（学年・学級経営）に努める。
- (2) 確かな学力の向上を目指し、基礎・基本の確実な定着と主体的・協働的に学習に取り組む態度の育成に努める。
- (3) 自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を送れるよう、自ら進んで体力づくりや望ましい生活習慣を身に付ける力の育成に努める。
- (4) 児童一人一人の教育的ニーズを把握し、その実態に応じた丁寧な支援に取り組むことができるよう、特別支援教育の推進に努める。
- (5) 教職員が各自の持ち味を発揮しながら、組織的・計画的に教育活動の推進に努める。

- (6) 教育者としての使命感を自覚し、研究・研修、日常の相互研鑽等を通して、人権意識の高揚と指導力の向上に努める。
- (7) 危機管理意識の向上を図り、職員相互の連携による安心安全な教育環境の実現に努める。
- (8) 地域学校園における小小・小中の交流・連携により、児童の確かな学力や豊かな社会性・人間性を育むための小中一貫教育の推進に努める。
- (9) 働き方改革の推進に向けて、勤務時間を意識しながら校務の明確化や効率化を図ると共に、教職員の健康管理に努める。

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法, 教育基本法, 学校教育法, 学校教育法施行規則, 小学校学習指導要領に示された, 教育の目標な内容, 栃木県教育委員会「指導の指針」, 第2次宇都宮市学校教育推進計画, 第2次宇都宮市学校教育スタンダード, 令和4年度指導の重点を踏まえた教育課程を編成する。
- (2) 教育活動全体を通して, 教科等の目標や内容を見通し, 学習の基盤となる資質・能力（言語能力, 情報活用能力, 問題発見・解決能力）や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成に向け, 小中一貫教育の視点を生かしながら教育課程を編成する。
- (3) 児童の発達の段階や実態, 地域の実態を適切に把握し, 教科横断的な学習の充実, 必要な人的・物的体制の確保, 教育課程の実施状況に基づく改善などを通して, 学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントに努め, 学校教育目標の達成を目指す。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
本校の合言葉「よく学び 心のふるさと みずほだい」の具現化を目指す。
 - ・ ○児童・学校・家庭・地域が一体となった合言葉の共有による「わがまちの学校」の経営
 - ・ コロナ禍において, これまでの学校の当たり前を見直しつつ, 豊かなかかわりを生む教育活動の充実
 - ・ ゆとりをもって児童と向き合うことができる働き方改革の推進
- (2) 学習指導
主体的・協働的に学び合える児童の育成に努める。
 - ・ 安心して考えを表出できる学習集団と基本的な学習態度・習慣の形成
 - ・ 活用できる知識・技能の習得と, 思考力・活用力の育成を目指した授業づくり
 - ・ 自分の学びが意識できる学習過程の工夫（宇都宮モデルに基づく授業改善）
 - ・ ○教科担任制による学習活動の充実
- (3) 児童指導
自分を大切にするとともに, 他者の存在を尊重する心豊かな児童の育成に努める。
 - ・ 自己有用感を育てるための, 認め励ます教育の推進
 - ・ 自ら判断し, 自己決定できる場の保障
 - ・ ○心地よいあいさつを交わし, 相手の気持ちに配慮した言葉遣いができる人間関係の醸成
 - ・ いじめゼロを目指した未然防止及び早期発見と組織的対応
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
自らの健康・安全を考え, 目標に向かって継続して挑戦する児童の育成に努める。
 - ・ ○教科体育の充実と各種運動・遊びの日常化に向けた指導の充実
 - ・ 自分の命を守る判断力を身に付けるための, 安全教育の推進
 - ・ 自らの健康を管理する力を身に付けるための, 保健教育と食育の推進

6 学習指導, 児童生徒指導, 健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

「よく学び 心のふるさと みずほだい」を自らつくろうとする資質・能力

- ・ 学び合いの中で、自己の成長を目指して主体的に取り組む力
- ・ 豊かなかかわりを通して、自他の違いを尊重し合う態度

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

① 「よく学び～個の成長の保証」

- ・ 「教師がどう教えるか」にとどまらず「子供がどう学ぶか」の視点での授業改善
決められた正解に導くのではなく、考えの過程や多様な発想を重視した学習過程の工夫
個に応じた学習方法や学習過程の工夫（自分で決める学習活動の設定）
考えの深まりが実感できるノート指導
- ・ 安心して自分の思いや考えを表出し、聞き合える学習集団づくり
- ・ ◇読書活動や「瑞穂野漢字ミニマム」の活用による基礎的な言語能力の育成
- ・ 一人一台端末の効果的な活用
- ・ 教科担任制による学習活動の充実

② 「心のふるさと～認められる居場所づくり」

- ・ ◇学校課題に基づいた人権教育の推進
- ・ 「みずほだい3つの約束（あいさつ・親切・言葉遣い）」や「心をはぐくむ時間」による、相手の立場や気持ちを考えて行動する実践力の育成
- ・ ◇道徳科の授業改善及び推進
- ・ ◇継続的な縦割り班活動「なかよし 瑞穂野」の充実
- ・ 宇都宮学や地域学習、地域行事への積極的参加による『『わがまち』意識』の涵養
- ・ いじめゼロ運動の推進と、アンケートやQ&A検査を活用したいじめの早期発見と解消
- ・ 児童の主体性を育む学校行事、児童会活動、委員会活動等の改善・充実
- ・ インクルーシブ教育の視点に立った特別支援教育の充実
- ・ 援助希求ができる力の育成

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

① 基本的考え

本校の合言葉「よく学び 心のふるさと みずほだい」が示す教育理念を、学校・家庭・地域が共有し、一体となって心身ともに健やかな児童の育成を図るとともに、関係機関との連携や交流の場を通して、学校を核とした地域全体の活性化を図る。

② 主な取組

- ・ 地域の教育力を生かした学校支援の導入（教育活動支援、安全見守り等）
- ・ 地域行事への児童参加の推奨・支援
- ・ 企業・施設等の協力による地域探究学習の充実
- ・ 地域貢献活動や地域への感謝を伝える活動等の実践による地域愛の涵養

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

地域学校園内の教職員が、瑞穂野地域の児童生徒の実態を理解した上で、目指す児童生徒像を共有し、9年間を通じた継続的・系統的な指導により「確かな学力」「健やかな体」「豊かな人間性・社会性」を育むとともに、児童生徒が連携し地域に愛情をもって関わろうとする態度

を育てる。

② 主な取組

- ・ 読書活動や「瑞穂野漢字ミニマム」活用による基礎的な言語能力の育成
- ・ 発達の段階に応じた準備・補助運動による基礎体力の向上
- ・ 衛生面や感染症予防の指導の共通化による保健指導の充実
- ・ 学校園食育だよりの発行やみずほの献立の実施等、統一した食育指導の充実
- ・ 小中で連携した道徳科の授業実践や評価方法の確立
- ・ 読書指導・学校園図書だより・家読の推進等による豊かな人間性・社会性の育成
- ・ 自然体験活動や乗入れ授業の実施による集団性・主体性の高揚
- ・ あいさつ運動やホタルの飼育等、地域住民との交流を通じた地域愛の涵養
- ・ 密接な情報交換によるいじめの防止や規範意識の涵養、効果的な支援の実施
- ・ 教科担任制推進のための情報交換

(3) 不登校対策

① 基本的考え

不登校の未然防止や初期対応の在り方について、学校全体で共通理解を図り、組織を生かしながら、本校の学校像の一つである「居場所のある学校」づくりに積極的に取り組むことにより、不登校対策の推進に努める。

② 主な取組

- ・ 不登校を生まない学級経営（集団づくりや人間づくり、たくましい児童の育成 等）
- ・ 不登校の兆しが見える児童の状態や背景の把握と組織的な早期対応（ケース会議 等）
- ・ 別室登校児童への支援と学生ボランティアの活用
- ・ 教育相談におけるQ-Uの活用
- ・ S Cを積極的に活用した事例検討会や不登校対策に関わる校内研修の実施

(4) GIGA スクール構想

① 基本的考え

全ての児童と教職員が、一人一台端末を学習や生活の場で日常的に活用できるよう、環境整備を進め、児童のニーズや学習状況に応じた活用法の検討・実践・検証に努める。

② 主な取組

- ・ 児童の教育的ニーズや学習状況に応じた活用による個別最適な学びの実現
- ・ 情報活用について主体的に判断できる情報モラル教育の充実
- ・ 端末を活用した協働学習展開の工夫
- ・ I C T支援員等による端末活用に関する研修の実施

(5) 宇都宮学

① 基本的考え

児童が地域社会に主体的にかかわる学習活動をととして「わがまち意識（地元への愛着と社会のつくり手としての意欲）」を育む。

② 主な取組

- ・ 総合的な学習の時間を中心とした地域学習カリキュラム・マネジメントの工夫
- ・ 各教科学習における地域教材・地域人材の積極的活用
- ・ 瑞穂野地区や宇都宮市に関する資料・環境等の整備